

読書ノート

・震災日録 記憶を記録する

森まゆみ著 岩波新書

民俗学者宮本常一の「記録されないことは記憶されない」を胸に、東日本大震災から日の日、被災地の日常や人々のことは「低コスト小冊子」から記録しつづけた著者。マスコミは本当に知りたいことを伝えてくれないものかしらや不満かありますから私は日々遠のいてしまったのは?

森まゆみの行動力と“良識・常識”を学ぶ。この本にあった「カンシ」のことは、「七つの社会的罪悪」を記します、理念不足・政治・労働不足・富良心不足・快楽・人格不足・学識道徳不足・商業・人間性不足・科学離れ・身体不足・宗教

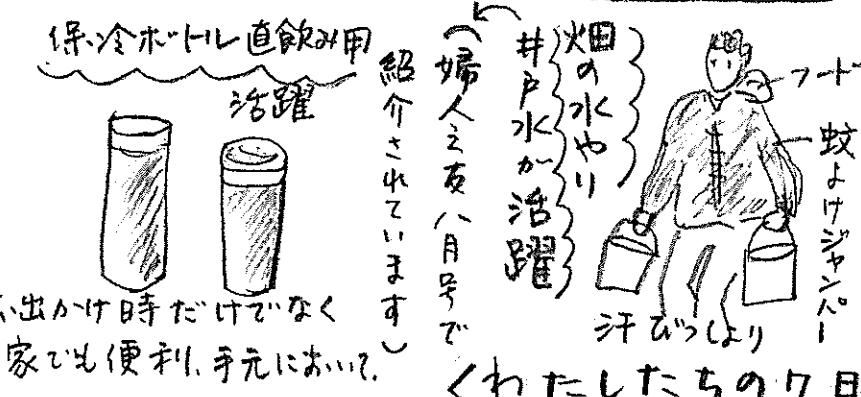
今、これらの悪いかまんえんじよ!!

・カコちゃんが語る植田正治の写真と生活 増谷和子著 平凡社

白い砂丘に立つ家族像、少女4人、シルクハットの男たち、植田調といわれるモノクロ写真の数々、彼にしか作れない写真に私もひかれる。鳥取、境港で写真館を営みながら多くの名作を生んだ。娘が記す正治の日常生活、家族と、地域と仲間を大切にして生きた人生を辿ると、左人と幸せな人たちのようと読者も心満たされる。幸せでこうしたことね! 大山の麓にあり正治の写真美術館へ又度訪れたことがある。また行きたい。

菜園もあり

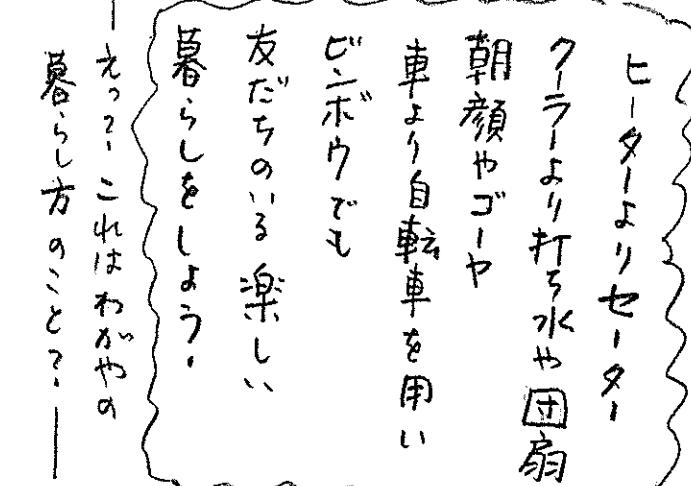
さゆりの辛子漬 おいいいキーリーか 毎朝とれます。
さゆり 4本 (大き目)
漬け汁 さとう 80g ②つけ汁の材料を川貝に加え
酒 40ml よく混せて保存容器で一晩
粉からし 15g 冷蔵庫に。
塩 15g ①さゆりは2cmの切り
漬け汁2回目はキーリーをうすく切って、さゆり味です。



けやき通信

2013年7月
No.241

—錦織 佳代子—



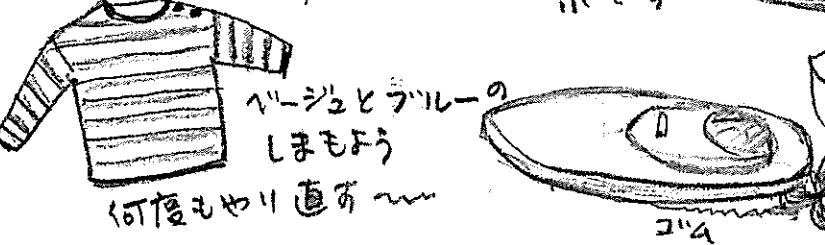
“読書ノート”的森まゆみさんから地域雑誌で
おとと提唱してきたことだ“どうぞ、まださらのこと
みたい。そんなわけで、猛暑続きの7月
わかやにクーラーはありません。

食事の用意は常備菜か決の手!
先手仕事と常備菜か決の手!

あとほ
ゆつくり



わたしは
孫のセーター編み
これも
フィンランド
の糸は色々
きれい。
竹誠雄か~70%
混ざってい
サラリとした
糸です



GORIさんは火田と
出窓工房(?)で
木製おもちゃの
船作り
(孫の母親
からの
注文)
電動工具
アルミ板のスクレ
ピキ材で?ツールに磨いて
木の味のある船です